

と し ょ か ん 宇 治

No. 10

1986年10月1日発行

宇治市中央図書館

宇治市文化センター内

▽ 611

宇治市折居台1丁目1番地

電話 (20)1511

宇治市名木百選の一本に選定されている菟道奥の池のかきのき (写真提供 中川恵次氏)



秋、秋、秋……

夕日に映えて、枝もたわわに赤い実をつけた柿の木。ただ、それだけで、実りの秋、日本のふるさとを感じる。柿は古くから栽培され、正式の学名も「KAKI」。すっかり、日本の風土にとけこんでいる。

いつだったか、白山神社、紅葉谷に行った時、白川の里でそのような風景に出会い、澄んだ空気とともに和らいだ気持ちに満たされたことがある。結婚した時、庭で四季の果物を子供に食べさせたくて、柿の木も植えた。やっと、昨年、初めて実がなり、いつ食べられるか青い身がだんだん赤くなるのを子供と待つのが楽しく、チョッピリ収穫の喜びを味わった。

柿の実は二日酔いによく、葉はビタミンCがたっぷり、また、柿の葉茶で肌の老化を防ぐという。その他、ヘタはシャックリの妙薬に、カキ渋は洗紙や魚の網の補強に、柿材は家具やゴルフ用具に用いられ、生活に密着した果物としてその実用に歴史の長さを思う。

しかし、柿の木は今では古い町並の所で見られなくなったり、店先で見る柿だけで季節を感じるのには少々さびしい気がする。

私と本との関係

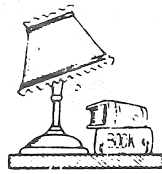
木幡 治 美

十四年前に宇治に足を踏み入れた時は、まだ働いていて、早朝から夜遅く迄会社と家との往復で周囲を見まわす余裕も無く、昼休みに本屋をのぞくのが何となく毎日のうるおいたいような日々だった。第一子を出産し退社して、さて近所を歩いて見れば、徒歩での生活圏内に図書館どころか本屋も無く、まるで文化の島流しにあったように作しいような心地がしたものだ。その内にポツポツと店が増え市場も出来、待望の本屋も出来大喜びしたものだ。が、何しろ物ごとろつくつかつかぬかの内から自他共に許す本中毒。なのに無職の悲しさ、資金が続かない。家事の合間に読書するのはなく読書の合間に家事をするという方がびったりで、毎日活字を追っていないと禁断症状が出たようで、落ち着かないという困った人間。

さあどうしようと思った時に出会ったのが、「そよかぜ号」こ

市民の投稿欄

れだとはかりにとびつき、以来毎回制限枠いっぱい二十冊を借りて長いおつきあい。親に似て子供もすっかり本好きになり、最近自分の本ばかり借りられず子供とどちらが沢山借りるかもめてしまうが、「あなた達は学校でいつでも借りられるでしょ。」と大人気なく私が勝って大対二対一対一の割合で借りている。残念なのは、中央図書館が遠くて、簡単に利用出来ない事である。引越したいと思う今日この頃である。



図書館を利用して

琵琶台 西生 安男

私達の幼い頃、図書館といえ「厳粛」であるものとの先入館があり、実際、館内の壁には「静粛に」という額が架かっていて、私などはそれで十分に畏縮してしま、一種近寄りたがたい雰囲気がありました。

ところが、現在は、誰でも手軽に、気安く、自由に利用でき、正に買物かご片手に利用でき、隔世

の感があります。自分の趣味もさることながら、仕事の上でも大いに利用しています。

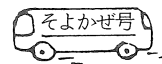
「此の頃の高校生は本を読まない」と言われて久しいですが、決してそうではなく、彼らはどの本をどの様に読んでいいのかが、わからないのです。私は授業の中で、私自身の推薦図書を紹介していますが、その時は実物があれば一層効果的なのです。府立図書館をはじめ、他の図書館より度々、

図書をお掛けしていただき、御迷惑をお掛けしてはいますが、生徒達は順々に手に取ってじっくりと見ており、きっと彼らの人生の糧になるものと確信しておりますので、これからも宜しく願います。

私が図書館に希望することは一般的な全集・叢書の類を意欲的に収集していただくことと、貸出し期間も五冊四週間以内にしてほしい、ということですが。

図書館では、利用者の皆さんからの投稿をお待ちしています。図書館へのご感想なりご要望、または本についての思いなど内容は問いません。お気軽にお寄せください。

はしれ! そよかぜ号



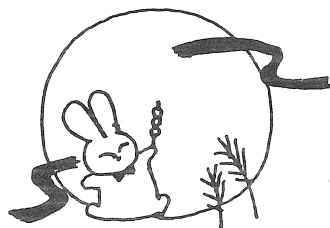
八月から移動図書館・そよかぜ号の巡回時間が、四つの駐車場に変更になっています。お問い合わせのないよう

にお願いします。

◇ 木幡・北小倉・緑ヶ原
伊勢田の各駐車場

◇ 時間は、いずれも午後一時半より三時半まで

「こんにちはわ」と言って大きな袋から返却の本をドッサリと取り出された奥さん。そよかぜ号の車内は、いつも本と人とのふれあいの場になっています。そんなひとときの光景、また「そよかぜ号」からのお知らせなどを、これからこの欄で紹介していきます。



【質問】
下水道はくらしの中で、どんな役割を持っているのですか。

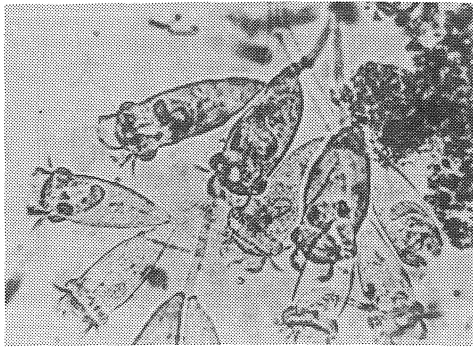
【回答】
私たちが毎日の生活を送る上で、水はなくてはならないものです。水道の蛇口から出た水は、使用后、汚れた水となって家庭から流されていきます。その汚水を処理し、河川や海の水をきれいな状態にもどすとともに雨水などの自然水を排除し、侵入を防ぐなどの、生活環境を快適にするための施設、それが下水道です。つまり、台所・風呂場などから出される生活排水は公共下水道の管渠を通じて処理施設に送られ、処理

ご存知ですか？

を再生産するために必要な施設なのです。

宇治市の下水道計画は、宇治川右岸の東宇治地域には単独公共下水道を建設し、左岸側の西宇治地域には京都府木津川流域下水道を設置していく、というものです。今年の七月十八日、公共下水道の処理場である東宇治浄化センターが完成し、いよいよ八月一日より六地蔵・五ヶ庄・木幡の地域の一部で公共下水道の供用が開始されました。宇治市にとって今年度は、「下水道元年」といえます。

図書館では、下水道について理解を深めていただく本もたくさんそろえ、皆様のご利用をお待ちしています。



〈下水を処理（汚濁物質を分解）する微生物〉

【質問】
図書館でのコンピュータのしくみはどうなっているのですか。

【回答】
中央図書館では、昭和五十九年の開館より、コンピュータを導入し、図書の貸出し・返却・検索及び統計に活用しています。

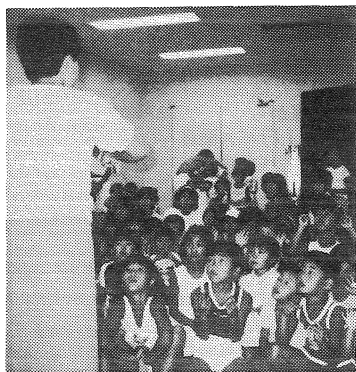


端末装置（ディスプレイとキーボードで構成）をカウンターに三台、参考資料室に一台を置き、事務室内の中央処理装置と通信回線ですんで、データを送っています。貸出しや返却で「ピーッ」という音は、利用者カードや図書

キーボードで構成）をカウンターに三台、参考資料室に一台を置き、事務室内の中央処理装置と通信回線ですんで、データを送っています。貸出しや返却で「ピーッ」という音は、利用者カードや図書の

みんなでたのしく!!
～夏休み・おはなし会～

スライドによる読み聞かせ、大型紙芝居など、夏休み特集として、いつもより少し時間をのばしたおはなし会、八月二十七日には約六十名のお友達が集まりました。途中、ゲームをやったりして約四十五分、アツという間に終わりました。



図書館では、子供達により多くの本に親しんでもらうため、毎月第四水曜日にはおはなし会を開いています。

郷土のはなし

太閤堤

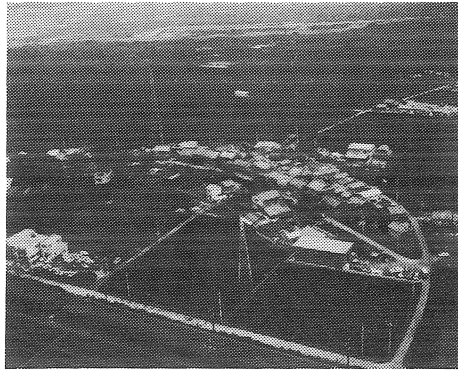
織田信長の死後、天下を統一した豊臣秀吉は、文祿二年（一五九四）

伏見に城を築き、町の建設に取り組みますが、それと同時に伏見に交通を集中させるための工事も行ないました。つまり巨椋池に宇治と向島、小倉と向島、淀と向島を結ぶ堤を築き、向島・伏見間に豊後橋（今の観月橋）を架けました。これらの堤はそれぞれ榎島堤、小倉堤、淀堤と言いい、総称して太閤堤と呼んでいます。小倉堤によって奈良・伏見間は今までのように寺田・宇治・木幡というルートから、寺田・小倉・伏見という短絡のルート（大和街道）で結ばれました。また水路も宇治川が榎島堤によって流路が固定し、このため淀・岡屋津の航路が断たれ、岡屋津は中心港としての機能が失い、代って伏見港がその任務を果すこととなります。

今まで水路交通の結節点として重要な役目を果たしてきた宇治も、太閤堤によって、その機能を伏見に譲ることとなります。宇治にとっ

ては大変な出来事であったといえましょう。また巨椋池が遊水池としての機能を果し、下流での洪水を防いできましたが、この堤によってそれが失われ、江戸時代下流の摂津・河内ではたびたび洪水がおこったようです。

現在では巨椋池は干拓され、国道二十四号線が通り、小倉堤は街道としての機能がなくなり、堤もほとんど破壊されましたが、三軒家、西目川にその一部が残されており、昔の面影を留めています。



△西目川に、現在でも残っている太閤堤の一部△

*中央図書館では、各種の郷土資料を収集しており、皆さんからの寄贈をお待ちしています。

本をかりるには

一利用案内一

中央図書館

市内にお住まいの方、市内に通勤・通学されている方ならどなたでもかりられます。

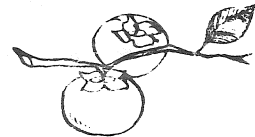
- 貸出は、1人3冊、3週間です。
- 開館時間は、9時～17時です。
- 休館日は、毎週月曜日・毎月末日・国民の祝日・年末年始 土曜・日曜もあいています。

移動図書館

月に市内24カ所を巡回しています。

- 貸出は、1世帯に20冊までです。
- 次回巡回日に返却して下さい。
- 日時・場所は、毎月1日号の市政だより「そよかぜ号」巡回日程をご覧ください。

(中央図書館の場所)



編集後記

◆ さわやかな秋。ページをめくる心のときめき。本との語らいで充実した時をおすごしください。

◆ 図書館協議会委員の小山一雄

◆ さんが七月十五日ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

◆ 今回から「はしれ／そよかぜ号」のコーナーを設けました。そよかぜ号のホットな話題をお届けします。お楽しみに。